



各事業所やフロアーに掲示

永 寿 会 通 信

黄色い飛行船 第9号

2015年 12月16日

運はどう掴むか？

去る11月29日（日）、藤沢ミナパーク会議場で神奈川県高齢協藤沢地区連絡会（施設長会）主催による、「実践研究発表会」が開催され、9施設から発表があり、各施設での取り組み研究成果が披露されました。かりんも「彼にも最賃制適応？～365日24時間働く仲間として～」を報告しました。福岡 CM、高梨 CM と私で担当しました。福岡 CM が横浜のパシフィコでの内容を大幅に充実させて作成し、発表に辿り着きました。

そして何と！この発表が第一位の会長賞の荣誉に輝きました。思いがけないことでビックリというところです。発表の多くはご利用者に関する取組でしたが、職員の精神面のフォローや支えが必要でそのことに着目して頂けたのかと思います。

なぜこの発表をしたかという発表の中に含めましたが、介護業務は本当に精神と感情の労働になります。従事する職員の皆さんは重度化する介護度の方のケアで心労も多く、精神面でダメージを追う方も少なくありません。こうした中で平成24年4月からかりん（藤沢）施設内で雇用（？）している三毛系猫の準職員「りん」の存在の大きさに気付き、アピールするために取り組んだものです。人が言葉で意思や感情を交流しあうように、りんの存在がその媒介となって施設内の人間関係の雰囲気は暖かく、和やかになり、ホッとする空間ができたと言えるからです。

今後も更にご入居者の重度化は進み、医療的側面も複雑化し、対応する組織体制もしっかりしていかななくてはなりません。日々技術力を磨き、精神的にも人間的にも成長し、逞しさを身につけましょう。

私達は精神的に厳しい状態が続かなくても意図的に努力をしないと感性や精神力は摩耗していきます。そうならないために、趣味や異業種の友人たちとの交流、スポーツ、ご家族との団欒等を通じてストレスの発散や精神のブラッシュアップを是非図ってください。

私の趣味はというよりもう一つの仕事は園芸、所謂「百姓」で、無農薬、有機栽培と生物世界との共存で、自然や四季との格闘を通じて暮らすことを心がけています。体力的には年々きつくなりますが精神的には解放されるところが魅力で、努力が実らない時もありますが、ある時は諦め、ある時は反省をして続けてきています。早朝の爽やかな空気を吸いながら刈り払い機での除草やトラクターを運転し、田や畑を耕運したり、ミニコンボで堆肥を運んだりして、ひと時を過ごしてから出勤します。早番の方などは見かけたら応援してください。

今秋、野菜は豊作で、特に大根等は産地では出荷せず、そのまま耕運してしまうとのことで残念ですが、お店では野菜は安く売られています。風邪を引かないように体と心を鍋料理で暖めてください。

以 上